



平成20年2月15日

各 位

会 社 名 株式会社三井ハイテック
代表者名 代表取締役社長 坂上 隆紀
(コード番号 6966 東証第1部・福証)
問合せ先 常務取締役管理本部長 大森 昌勝
(TEL 093-614-1111)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成19年9月10日に公表いたしました平成20年1月期（平成19年2月1日～平成20年1月31日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成20年1月期連結通期業績予想数値の修正（平成19年2月1日～平成20年1月31日）

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	62,000	4,000	4,200	2,500
今回修正予想 (B)	62,500	3,200	3,200	1,650
増減額 (B) - (A)	500	△800	△1,000	△850
増減率	0.8%	△20.0%	△23.8%	△34.0%
前期実績	57,423	3,770	4,062	2,978

2. 平成20年1月期個別通期業績予想数値の修正（平成19年2月1日～平成20年1月31日）

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	38,000	1,800	3,200	1,900
今回修正予想 (B)	38,500	1,300	2,450	1,300
増減額 (B) - (A)	500	△500	△750	△600
増減率	1.3%	△27.8%	△23.4%	△31.6%
前期実績	36,249	1,489	3,142	2,119

3. 修正の理由

当期の当社グループ（当社および連結子会社）を取り巻く事業環境は、主たる需要先である半導体業界において、企業間競争の激化に伴う製品価格の下落が急速に進行するとともに、堅調に推移しておりました需要環境が、期末にかけて一部緩和し在庫調整の兆候が見られるなど、厳しさを増しました。

このような状況のもと、当社グループは、引続き超精密加工技術を活かした事業展開を推進し、拡販に努めてまいりました。

その結果、通期売上高は、予想を上回る見通しとなりました。利益面では、プレス用金型事業やモーターコア事業において増益が見込まれますが、主にICリードフレーム事業において、製品価格の予想以上の下落を補うことができず、通期利益予想を下回る見通しとなりました。

以上により、平成19年9月10日に公表しました平成20年1月期の通期の連結・個別業績予想を修正いたします。

以 上